



ふれあい

令和8年2月2日
京都市立第三錦林小学校
校長 吉岡 健一郎

日によって寒さがちがうのはなぜ？

今年の冬は例年になく暖かいスタートとなりましたが、年が明けて一転、それまでの暖かさがうそのように厳しい寒さが続いています。同じ冬なのに、暖かかったり寒かったりするのはどうしてなのでしょう。4年生の理科では「天気と気温」を学習します。子ども達はよく「晴れの日には暖かい。」「雨の日には寒い。」というのですが本当でしょうか。日光を浴びると確かに暖かく感じますが、朝方 0℃近くまで冷え込む日もあります。天気は気温の変化に影響しますが、その日の気温が高いか低いかはまた別の話なのです。日常の生活経験を思い浮かべれば分かるように、雨の日でも暖かい日はあるのです。

さて、それでは何が気温に影響するのでしょうか。答えは風です。風とは空気の動きです。そこにあった空気がどこかへ動いた時、何もなくなった場所には次の空気が来ます。この動きが風なのです。このとき次に来た空気が寒い空気なら寒い日になり、暖かい空気なら暖かい日になるというわけです。それでは次の空気はどこからくるのでしょうか。

右の図は高度5000m付近の高層天気図です。日本付近の上空では矢印で示した通り、偏西風という西風が吹いています。この風は実は地球を一周しているのですが、常に同じ場所で吹いているわけではなく、蛇行して南寄りに移動したり北寄りに移動したりします。この風の北側にはマイナス30℃を超える寒気があり、偏西風が南寄りに位置するとき、この寒気が入ってくるのです。上の図は2月1日の高層天気図。偏西風が南寄りに位置し、寒気が入ってきています。一方下の図は半年前の8月1日のもの。偏西風が北寄りに位置し、日本列島が暖気に覆われていることが分かります。

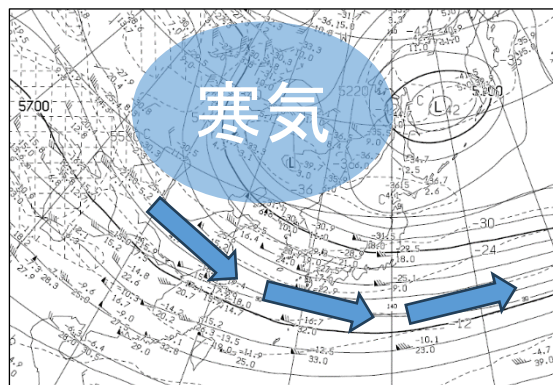


図1 500hPa 高層天気図 2月1日0時
(気象庁 HP より)

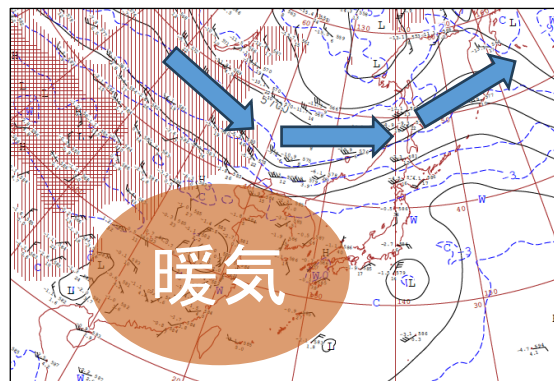


図2 500hPa 高層天気図 8月1日0時
(気象庁 HP より)

さて、子ども達に、この天気図を示して説明してやればよいのでしょうか。そんなことをする必要はありません。「なんでだと思う？」と返してやればよいのです。「なんでだろう？」と感じたときこそ学びのチャンス。AIに聞けばすぐに答えは分かるかもしれませんが、なぜだろうと自分の頭で考える、その過程こそが大切なのです。子ども達はよく「なんで？」「どうして？」と聞いてきますが、大人だって何でも知っているわけではありません。すぐに答えを追い求めるのではなく、「これはどうなってるんだろう。」と未知を楽しむ心の余裕をもっていたいものです。



行事予定

11月より2月末まで
午後4時完全下校です。

2月	2日 (月)	委員会
	3日 (火)	保健の日
	4日 (水)	ロング昼休み たんぽぽ食に関する指導
	5日 (木)	フッ化物洗口 たんぽぽ巨匠展鑑賞 (午後)
	6日 (金)	5年音楽鑑賞教室 (午前) 4年くみひも体験
	8日 (日)	6年京キッズ RUN
	9日 (月)	にこにこ朝会 クラブ (見学)
	10日 (火)	銀行振替
	11日 (水)	建国記念の日
	12日 (木)	フッ化物洗口
	13日 (金)	たんぽぽおもてなし会
	16日 (月)	安全の日 読書の日 クラブ (最終)
	17日 (火)	6年華道教室
	18日 (水)	図工展 3年食に関する指導 育成科学センター学習 読み聞かせ
	19日 (木)	図工展 フッ化物洗口
	20日 (金)	図工展 参観・懇談 PTA
	23日 (月)	天皇誕生日
	24日 (火)	成績週間
	25日 (水)	成績週間 思い出作り週間 6年食に関する指導
	26日 (木)	児童会 (中間休み) 5年幼保小交流 フッ化物洗口
	27日 (金)	成績週間 研究会の日 思い出づくり週間

3月 行事予定

3月より午後4時30分
完全下校となります。

2日 (月)	思い出作り週間 委員会 (最終)	16日 (月)	安全の日 読書の日
3日 (火)	成績週間 保健の日	19日 (木)	フッ化物洗口 給食終了
4日 (水)	成績週間 読み聞かせ (6年のみ)	20日 (金)	春分の日
5日 (木)	フッ化物洗口	23日 (月)	卒業式
6日 (金)	育成なかよしお別れ会	24日 (火)	修了式
9日 (月)	にこにこ朝会 (最終)	30日 (月)	離任式
10日 (火)	学校保健委員会 6年生を送る会 銀行振替		
11日 (水)	ロング昼休み 読み聞かせ	4月10日 (金)	着任式・始業式・入学式
12日 (木)	フッ化物洗口		

*成績週間を2月24日 (火) ~ 27日 (金)、3月3日 (火) ~ 4日 (水)に設けます。成績週間は5時間授業ですので、下校時刻が普段より早まる学年があります。ご了承ください。

2月分学校諸費振替日は、10日 (火) です。

2月分は給食費、積立金 (4・5年) が振り替えられます。預金残高をご確認ください。

あいさつ運動

3学期の始業式、PTA 有志の方々と教職員とで、朝のあいさつ運動を行いました。吐く息も白い寒い朝でしたが、久しぶりに登校する子どもたちは元気いっぱい、新年のあいさつをしてくれました。寒い中見守ってくださった保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



5年 ミシン



5年生の子どもたちは、家庭科でミシンの勉強をしています。この日は練習布を使って、実際に縫ってみる練習。方向転換をしたり、返し縫いをしたり、色々な縫い方を試します。子ども達は教科書を見ながら「次は下糸を引っ張り出すよ。」「もう少しはずみ車を回して。」「レバーが上がったままだよ。」などと声をかけ合いながら作業を進めていきます。なかには家で触ったことがあるのか、慣れた様子で友達にアドバイスする子も見られました。幼稚園や保育園では、レッスンバッグやエプロンなど、手作りを指定されることもあります。お子様のものを手作りされたご家庭もあるのではないのでしょうか。家庭科の学習は学校で習って終わりではなく、家でもやってみて初めて身につくもの。この機会にぜひ触らせてあげてください。

6年 人権ゆかりの地めぐり

6年生が毎年恒例の人権ゆかりの地めぐりに出かけました。3グループに分かれて、市内の人権にゆかりのある施設をめぐり、それぞれで学びを深めます。ライトハウスを訪れたグループは視覚障がいをもつ方々の生活や支援について、飛鳥井ワークセンターのグループは障がいをもつ方々の就労支援について、地域・多文化共生ネットワークサロンのグループは多様な背景を持った人たちが交流し、共生するための社会福祉事業について学習してきました。写真は車いすの人たちとの交流の様子。卓球バレーというスポーツで、卓球台の周りで全員椅子に腰かけて行います。このスポーツ、車いすの人も健常者の人も一緒に楽しめるようにと考案されたスポーツで、なかなか練られたルールで白熱します。スタンディングという反則は、椅子から腰を浮かしてはいけないというもの。車いすの人は浮かせませんから、公平にするためのルールですが、子ども達は熱中するとついつい腰が浮いてしまいます。気がつけば障がいがあるかないかなどに関係なく、必死でプレイしていました。障がいをもつ方との関係は、障がいの有無に関係なく対等な立場で一人の人間として向き合うべきもの。これが本来あるべき姿なんだと気付かされました。



体調管理にお気をつけください

寒さが続き、発熱による欠席や早退が増えてきています。近隣ではやむなく学級閉鎖に至る学校も出始めています。学校では休み時間に教室の換気を行い、手洗い・うがいを呼びかけ、感染予防に努めています。ご家庭でも早寝・早起きの呼びかけや、お子様の様子がおかしいとき・発熱が見られたときなどには、早めに病院にかかるなどの体調管理にご協力をお願いします。



避難訓練

避難訓練を行いました。給食室から出火したという想定の下、運動場に避難しました。子ども達はハンカチを口に当て、落ち着いて行動することができていました。本校は学校の隣に鹿ヶ谷消防出張所があります。当日はお隣の出張所から



消防官の方に、なんと本物の消防車に乗って来てもらいました。子ども達の避難行動の様子や職員の初期消火の様子について見ていただき、アドバイスをもらいました。訓練後は消防車の見学をしました。1年生は国語の学習ではたらく車について学習をしました。消防車について調べた子どももいたのでしょうか。本物の消防車を前に、「これ何か知ってる!」「はしごはどこかな?」「これは何に使うの?」などと興味津々で眺めていました。みんなの暮らしの安全は、消防や警察など色々な人に守られているのだということを知る機会になりました。

対話タイム

1学期からクラスや学年間で続けてきた対話タイム。3学期は集大成として、全校の対話タイムを行いました。テーマは「友達がたくさんいた方がいいか。」1年生から6年生までが円になって意見を出し合います。「たくさんいた方が楽しいからいい。」「大勢だと遊びが決まらなかったり、自分のやりたい遊びができなくなるから、少ない方がいい。」意外と賛否両論、色々な意見が出ます。6年生が中心になって、話し合いを進めてくれました。正解のある話ではないので、まとめる必要はありません。賛成も反対も、色々な意見があっていいのです。



新しい竹馬



PTAで購入していただいた新しい竹馬が届きました。なんと補助脚付きのものもあります。早速子ども達が見つ

て遊んでいました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

2月5日は「京都はぐくみ憲章の日」

京都市では、子どもを笑顔で温かく見守り、地域や社会の宝として大切に育む「育み文化」が息づくまちづくりを進めています。家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で行動の輪を広げましょう。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「**京都はぐくみ憲章**」を実践しましょう!



わたくしたちは、

- 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます
- 子どもが安らぎ育つ、かていの生活環境と家族のきずなを大切にします。
- 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。